016 No. 3003 事務事業名 農業集落排水使用料及び分担金徴収事務 細事務事業名 農業集落排水使用料・分担金事務公的関与 089-964-4417 課 名 下水道課 係 名 管理係 電話番号 メールアドレス gesuido@city.toon.ehime.jp 事業期間 9 年度 ~ 実施計画 事業区分 施設の維持管理 事業運営方法 一部委託 該当 年度 総合計画 |政策目標||第1章 地球と共生する快適環境のまち||政策項目||4 下水道等の整備 主要施策 (2)農業集落排水施設の適正管理 下水道使用者・下水道受益者 事業の対象 根拠法令 下水道使用料及び受益者負担金を適正に賦課するとと 今年度 事業の目的 最終的 もに、徴収率を高めます。 (1) 使用開始届に基づき、下水道台帳へ登録を行います。 4 P 活動内容 検針データに基づき、下水道使用料を賦課徴収します。 **(5)** 3 単位 指標名 計算式又は指標設定理由 最終目標 平成 24 年度 平成 25 年度 平成 26 年度 98 98 100 目標 98 % |使用料現年分収納率 |収納額/調定額 実績 98 98 成果指標 目標 実績 目標 実績 農業集落排水特別会計 予算費目 会計 費目名 運営管理 費 平成 24 年度決算 平成 年度決算 平成 26 年度予算 備 考 25 国・県支出金 0 千円 0 千円 0 千円 地方債 0 千円 0 千円 0 千円 直接事業費 その他特定財源 0 千円 0 千円 0 千円 D 0 一般財源 1,018 千円 1,059 千円 1,070 千円 計(A) 1,059 千円 1,070 千円 1,018 千円 正職員工数・経費 0.012 人 73 千円 0.012 人 73 千円 0.012 72 千円 人件費(B) 臨時職員工数・経費 0.000 人 0.000 0.000 0 千円 0 千円 0 千円 全体事業費(A+B) 1.091 千円 1,132 千円 1,142 千円 一次評価者 管理係 必要性 有効性 達成度 効率性 3 今後の方向性 拡大・充実 4 3 評価点 項目 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント) 下水道の整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要が 必要性 あります。 C **有効性** 下水道事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。 Н Ε 達成度 現年分の未納者が継続的に発生しており、対策を強化する必要があります。 C **効率性** 現年分の徴収事務については、水道課に委託し、水道料金と一体徴収することで事務の効率化を図っています。 C 当面の T 公平性の確保のため、引き続き収納率の向上に努めます。 課 題 Ι 0 革 現年度の徴収について、水道課との連携をしながら早期に対応し、未納者の解消に努めます。 N 計 画 合 二次評価者 今後の方向性 拡大•充実 下水道課長 必要性 有効性 達成度 効率性 3 評価点 二次評価で 公平性を保つためにも、未納の発生抑制と実効性のある滞納整理の取り組みに努めて下さい。 の指摘事項

No.	016	_	30)04 事	事務事業 ≉	名	下水道使用料	斗、賦 郡	果徴収及び負担	日金関連事務	細	事務	事業名						公的関与 1		
	課	名	下水道課		係		名 管理		里係	電話番	号	08	39-964-44	17	メールアドレス		ス gesuido@	@city.	toon.ehime.jp		
ロ コ ∢ Ζ	事業区	☑分			事務事業		事業運営	方法	一部委	託 実	施計	·画	非該当	事業	期間	13 年	度 ~	年度	期間設定なし		
	総合計	一画	政策	目標 第1章	章 地球と共	生する	快適環境の	りまち	政策項目	4 下水道	等の								全運営		
	事業の	対象	下水	道使用者	・下水道	受益者	 首					根拠法令下水道法									
	事業の				道使用料 . 徴収率を			音負担金を適正に賦課するとと			今年	年度									
			1	使用開始	届に基づる	き、下ス	水道台帳へ登録を行います。					土地	2所有者へ申告書を送付し、受益者を確認します。								
	活動内	容	2	検針デー	タに基づき	、下才	水道使用料を賦課徴収します。					受益者に対して受益者負担金の徴収を行います。									
			3	新規供用	開始区域	こつい	ハて、賦課区域の公告を行います。														
	成果指標		指標名 				計算式又は指標設定理由							年度	平成		度 平成 26	年度	最終目標		
			使用	料現年分	仅納率	J	収納額/調定額					目標	98			98	98		100		
												実績	98 96			98	96		100		
			負担	金現年分	仅納率	J	収納額/	調定額	額		%	目標 実績	98			96 98	90		100		
												目標	30								
												実績									
	予算費目		会	:計	公	共下水	く道特別会	会計		費目名			公共	下水道	直事業		費				
						24					━━━━ ∓度決算		平成 26		年度予算		備		考		
	直接事業費		国・県支出金				0 千円				0	千円				Ħ					
			地方債				0 千円				0	千円	0 千円				円 円				
D			その他特定財源				763 千円				1,149	千円	1,956 千円				円 円				
0			一般財源				7,598	8,017 千円				8,	036 千	m H							
			計(A)					8,361 千円		,		千円			9,	992 千	H				
	人件費(B) 全体事業費		正職員	員工数・経費	0.981	人	5,934	千円	0.981	人 :	5,978	千円	0.981	人	5,	899 千	円				
			臨時職	战員工数・経費	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人		0 千	円				
			責(A	+B)			14,295	千円		15	5,144	千円			15,	891 千	円				
	一次評価者			管理係	_	合面点	Α	必要		有効性			戊度 3		区性		後の方向性	ŧ	広大•充実		
	項目		評価項目の説明(一次評価者のコメント)																		
	必要性	下水道ありま	x道の整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要がます。																		
OIL	有効性	下水江	道事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。																		
ECK	達成度	現年の	全分の未納者が継続的に発生しており、対策を強化する必要があります。 																		
• A C	効率性	現年を	5分の徴収事務については、水道課に委託し、水道料金と一体徴収を行うことにより事務の効率化を図っています。																		
T	当面の 課 題	公平的	生を傷	吊つため、同	別き続き収	納率の	の向上に勢	努めま	:す。 												
0 Z	改 革計 画	現年月	度の徴収について、水道課と連携をしながら早期に対応し、未納者の解消に努めます。																		
	二次評	価者	_	下水道課長 総合 pim A 必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4 今後の方向性								ŧ	広大•充実								
		評価で 摘事り		公平性を作	保つために	っにも、未納の発生抑制と実効性のある滞納整理の取り組みに努めて下さい。															

No.	016	_	3015 事務事業名 下水道施設維持管理事業							細事務事業名 施設維持管理事務 公的関 与							公的関与 1				
	課	名		下水道課	係		名	管理	里係	電話	番号] 08	89-964 ⁻	-441	7 メー	ルアト	ドレス	gesuido@city	.toon.ehime.jp		
	事業区	分		施設の約	推持管理		事業運営	方法	一部委			計画	該当	í :	事業期間	12	年度	~ 年度	期間設定なし		
	総合計		政策	目標 第1章	章 地球と共	生する	 快適環境の	のまち	政策項目	4 下水;	首等	の整備			主要	施策	(5)	 下水道事業の例	** 建全運営		
				下水道施		地球と共生する快適環境のまち 政策項目 4 下水道							个 下水道法								
ロレくこ	事業の目	目的	最終	冬的 行い	Eな維持管理によって施設の機能発揮及び保持を 、適正に汚水を処理し生活環境の向上及び公共 k域の水質保全を行います。							今年度 同上									
	活動内容				道施設(奴 持管理事務		:2箇所・マ	ンホー	ールポンプ	場11箇		4 緊急	対応及	. び Á	色設点検						
			2	汚泥処理	に関する					(5) 調查·報告·届出関係事務											
			③ 機器の維持修繕に関する事務																		
	成果指標				票名				は指標設定			单位	平成	24 :	年度 平成	25	年度	平成 26 年度	最終目標		
			水質(川内浄化センター) BOD(生物化学的酸			去更	処理場の られる水			g/0 目標		15		15		15	15				
			求量	1)		下女	態を表す	0				実績		3		3					
				(重信浄 D(生物	化センター) 化学的酸素	麦要			や維持管理			g/ℓ 目標		15		15		15	15		
			求量		10 1 1 1100	N A	られる水質項目で、水の汚濁状態を表す。					実績		3		2					
												目標									
												実績									
	予算費	目	会	計			水道特別会			費目名					水道事業			費			
	直接事業費				平成	24	年度決	算	平成	25 -	年度	注決算	平月	ζ	26 年	度予	·算	備	考		
			国•	県支出金			0	千円				0 千円				0	千円				
			坩	也方債			0	千円				0 千円				0	千円				
ם			その他特定財源				0 千円					0 千円	0 千円				千円				
0			一般財源				128,713 千円				40,6	883 千円	186,266 千円								
			計(A)				128,713 千円		140		40,6	83 千円	186,266			千円					
	1 (4 世 / 5)		正職員	員工数・経費	0.378	人	2,287	千円	0.352	人	2,1	45 千円	0.3	52	人 2	2,117	千円				
	人件費(B) 全体事業費		臨時職	員工数・経費	0.000	人	0	千円	0.000	人		0 千円	0.0	00	人	0	千円				
			隻(A+B)				131,000 千円			142		328 千円			188	188,383 千円					
	一次評価者			管理係	総証値	合 西点	A	必要	要性 4	有効性			或度	4	効率性	4	今後	の方向性	拡大·充実		
	項目					 评	価 :	 項	目	の ፤	 兑	 明	(一次	に評し	<u> </u>	メン	/				
		公共月	評価項目の説明(一次評価者のコメント) に用水域の水質保全、快適な生活環境を維持するために必要であり、事業を廃止・休止することが出来ない事業です。																		
υп	有効性	民間委]委託により処理施設の機能を適正に保持し、放流水質の安定・向上を図り、公共用水域の水質保全に貢献しています。																		
ШС	達成度	適正に	Eに維持管理を行い、適正に汚水を処理し、放流水の水質が良好な状態に保たれています。																		
K • A			そできるものについて民間委託を行っており、現在、維持管理事務について最小限の人員で行っています。将来は、維持管理の増加に伴い 直す必要があると思われます。																		
ОТІ	当面の課題	事業の	美の完了後(運転開始)10年以上経過している施設もあるため、施設の計画的なメン										メンテラ	トンフ	ス、維持管	理が	今後(の課題となりまっ	•		
0 Z					いて異常 活環境を携												を維持	します。また、	放流水質を良		
	二次評価	西者		下水道課長		合 点面	А	必要	要性 4	有効性		4 達月	或度	4	効率性	4	今後	の方向性	拡大•充実		
	二次評価で の指摘事項				設管理を行 危機管理									水質	質保全に勢	努めて	でで	∕ ` ₀			